

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和6年度第3回総会議事録**

令和7年2月10日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和6年度第3回総会議事録

日 時：令和7年2月10日（月）13：30～
場 所：ふくしま中町会館6階特別会議室

議事の経過及び内容

13時30分、JA福島中央会岩本食農振興担当部長（以下事務局長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

今泉仁寿会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により今泉会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人および書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には全国農業協同組合連合会福島県本部米穀部 今福部長、公益財団法人福島県農業振興公社 渡部事務局長、書記に福島県農林水産部水田畑作課 飯塚主査を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席および委任状を含め全会員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号 水田農業をめぐる情勢」、「報告第2号 令和7年産米の地域の合理的な単収の設定について」議長から、事務局に説明を求めた。

報告事項説明

報告第1号を岩本事務局長、報告第2号を福島県水田畑作課遠藤課長より説明し、さらに関連して議長より東北農政局福島県拠点に補足説明を求めたところ、石川総括農政推進官より、「新たな水田政策については、令和9年度からの新たな水田政策の見直しの方向性を示したところであり、今後、幅広く現場の意見を汲み取った上で、本年度中に基本計画に位置づける。」との発言があった。議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かった。

6. 議 題

議長より「議案第1号 令和7年度水田収益力強化ビジョンの考え方および今後の推進（案）について」及び「議案第2号 令和7年度産地交付金（案）について」事務局からの議案説明を求めた。

議案第1号及び議案第2号を福島県水田畑作課遠藤課長より説明したのち、議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第1号」及び「議案第2号」は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長および議事録署名人がここに署名し、押印する。

令和7年2月10日

議 長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長
今泉 仁寿 ㊟

議事録署名人

全国農業協同組合連合会福島県本部 米穀部長
今福 利幸 ㊟

議事録署名人

公益財団法人福島県農業振興公社 事務局長
渡部 幸英 ㊟